

## 令和3年2学期始業式式辞(全日制)

みなさん、おはようございます。令和3年度の2学期が始まりました。元気でしたか。夏休み期間中は大きな事故等もなく、無事に2学期を迎えられたことにほっとしているところです。また、この夏休みは私自身とても楽しみにしていた東京オリンピックが行われ、前回のリオオリンピックをはるかに上回るメダル獲得という結果となりました。この大会では、選手の頑張りのもとより、ボランティアの方々の献身的な活動も話題となり、多くの勇気と感動を私たちに与えてくれました。このコロナ禍において日本だからこそ行うことができた大会であったと思います。

しかし、その一方で新型コロナウイルスの感染拡大はとどまるところを知らず、8月20日には、ここ福岡県にも緊急事態宣言が発出され、このように始業式もリモートによる始業式となってしまいました。現在のところ緊急事態宣言の期間は、9月12日までですから、9月4日に予定されていた体育大会も延期せざるを得ない状況にあります。しかし、教育活動は、止めるわけにはいきません。特に3年生にとっては、就職や進学などを考えたとき、一分一秒が宝物のように大切な時間になります。体育大会が延期になった分、今この時期に集中して勉強に励んでください。また、体育大会そのものもクラスターが発生するなど、今後の感染状況によっては中止せざるを得ないかもしれません。状況は去年のこの時期とは比べものにならないほど悪化しているのに、人々の危機感は薄くなり気が緩んでいるのが現状です。教育活動を止めないためにも体育大会の伝統を次へと繋いでいくためにも感染拡大防止に協力してほしいと思います。

そして、もう一つ皆さんにお願いがあります。それは本校の関係者に感染者が出たときの対応についてです。感染者を特定するために詮索するような行動は厳に慎んでください。人の中には興味本位にあるいは悪意をもって個人を特定しようとする人がいます。そういう人は、それを言いふらしたり、SNSで拡散させたりして、平気で人を傷つけます。コロナウイルスに感染して一番苦しんでいるのは本人です。病気そのものの痛みもありますが、自分が感染したことで家族や友人に大きな負担や迷惑をかけてしまうことへの精神的な痛みもとても大きいと思います。興味本位に個人を特定し、その情報を拡散させることは、本人の痛みをさらに大きくさせるだけでなくその家族にも大きな痛みを負わせることになり、いじめや差別の原因にもなるのです。

みんなも知っているとおり、現在、二年ぶりに夏の甲子園大会が行われています。高校球児にとっては、まさに夢のひのき舞台です。そんな甲子園ですが、残念ながら部員のコロナウイルスの感染のため、出場校のうち2校が出場を辞退しました。そのうちの宮城代表の東北学院はただ1名の部員の感染による出場辞退でした。大会本部は他への感染の恐れはないとして試合の準備を進めていましたが、学校側は「出場すれば感染した生徒の特定につながる。」という理由で、「個人のプライバシーを守る」ことを最優先にした判断を行いました。この判断には色々な意見があるかもしれませんが、この東北学院の判断は、SNSなどで誹謗中傷が飛び交い、個人攻撃が当たり前に行われている世の中で、「個人のプライバシーを守ることの大切さ」や「集団の中においても最優先されるのは一人一人の人権である。」ということを示した大変勇気ある判断だったと思います。

どうか君たちにも学校関係者に感染者が出たときに、無責任に感染者を特定しようとしたり、安易にSNSで情報を拡散させたりするような行動は厳に慎むとともに、本校の校訓にある「敬愛」の心をもってつらい立場にある人の気持ちを思いやり、いたわり、一人の人間として責任ある行動をとってほしいと思います。

さあ、いよいよ令和3年度の2学期が始まります。一人一人がコロナ対策を万全に行うことでコロナ禍にあっても学びを止めることなく、一人ひとりが希望進路の実現にむけて前進できる学校を作っていきましょう。そして一人ひとりが責任ある行動をとることで一日も早くコロナ禍を克服し、当たり前のように学校行事を行い、当たり前のように部活動に励み、当たり前のように友人と語り、豊かな学校生活を送れるよう努力していきましょう。最後に、このような状況のもと何か困ったこと不安なことがあったら、遠慮なく先生方に相談してください。

それでは2学期も頑張ってください。